

8. 普及事業

8.1 成果発表会

日頃の研究の成果を企業および都民に普及を図るため、研究成果の発表会を開催した。

開催月日 平成15年10月28日
 会場 東京都庁第二庁舎 1階ホール
 参加者 131名

研究発表

ディーゼル車規制に対応した最新モニタリング技術
伊瀬 洋昭（資源環境技術グループ）
ディーゼル車規制が10月から国に先駆けて行われ、粒子状物質除去装置（DPFや酸化触媒）の装着や燃料の低硫黄化を進めても、除去装置を通過する微小粒子やガス汚染物質から生成する二次生成粒子も存在することから、SPMよりさらに小さい2.5μm以下の粒子（PM2.5）や1μm以下のナノ粒子の環境濃度モニタリングとその削減の必要性が指摘されています。 当所では、環境省、文部科学省、環境計測機器メーカー団体である(財)日本環境技術協会等と連帯し、放射線利用施設を活用したPM2.5自動測定器の開発支援及び性能評価を検討しています。
新たな規制物質の排出削減に向けた挑戦
大塚 健治（資源環境技術グループ）
最近の排水基準の強化等により、都内の中小工場から廃水処理場の開発要望が多く寄せられ、当所では重金属の凝集沈澱処理やクロムめっきのリサイクル化、錯系成剤含有排水処理等の技術開発や、工場実施相談を通して技術支援の要望に応えてきました。近年は微量有害化学物質汚染や地球規模の水環境汚染が明らかになり、法的規制項目、数値とともに強化され、従来技術では対応できない物質も多くなっています。 当所では、今後、需要が見込まれる廃水処理技術の開発や、開発した技術の見直し・コスト削減を進めています。
環境にやさしい無潤滑プレス加工技術
玉置 賢次（精密加工技術グループ）
今までの塑性加工技術では、加工時に大きな荷重が加わるため、潤滑油を使用しています。しかし、この潤滑油は環境汚染の原因になるため、潤滑油を使用しない新しい加工技術、すなわちドライ加工技術の開発が求められています。 当所では、DLC膜と基材との密着性の向上を目的とし、基材表面性状およびコーティング条件について検討を行い、ドライ加工技術の開発を目指しています。
都市環境改善を目指した屋上緑化土壌への応用
山本 真（材料技術グループ）
近年の都市部でのヒートアイランド現象を防止するため、屋上緑化や都市環境向上のため各種施設の悪臭除去が進められています。未利用天然資源である土壌中の草炭（ピート）は、既に保水性材料としても知られていますが、さらに化学反応を加えることで、優れた吸水性機能を有する改質物が得られることが分かりました。 当所では、草炭及びその抽出物を原料として吸水性材料を作製し、それと草炭に混合した吸水材を利用して脱臭剤および土壌改良材を試作しました。
地球規模のリサイクルに対応した繊維技術
樋口 明久（テキスタイル技術グループ）
世界129ヶ国・地域で栽培後に廃棄されているバナナの茎部（年間10億トン）を原料として糸や織物に再利用する技術を開発することで、熱帯地方の途上国の経済的自立への協力と未利用資源の活用による地球環境保全への貢献を目的とし研究を進めてきました。 当所では、バナナ繊維の採取から、開繊・カーディング・粗紡技術の検討を行い、柔らかく生産性の高い紡績糸や織物を試作しました。

8.2 研究発表会

前年度までに得られた試験、研究、調査等の成果を発表し、これらの成果の普及を図るため、2会場（西が丘、墨田）に分けて研究発表会を開催し、併せて要旨集を発行した。

開催月日	会場名	発表テーマ数	来聴者数
平成15年6月10日(火)	西が丘庁舎 第2～4教室	35	120名
平成15年6月11日(水)	西が丘庁舎 第2～4教室	22	95名
平成15年6月19日(木)	墨田庁舎 実習室	10	86名

平成15年6月10日(火) 西が丘庁舎 第2教室
電気測定・評価

	題 目	発 表 者 (印は講演者、()は産業技術研究所の各技術グループ)
1	高圧絶縁電線の部分放電による評価と絶縁性能の検討	滝田和宣、石井清一、永井明良、亀山行雄、池田弘〔技術評価室〕
2	超抵抗器計測システムの検討	水野裕正、長谷川守一、尾出順、伴公伸〔技術評価室〕
3	Pt/Pd熱電対のアルミニウム点における安定度特性	尾出順(技術評価室)、佐藤弘康(日本電気計器検定所)、濱田登喜夫(田中貴金属工業株)
4	移動用機器に適した蓄電池容量評価システムの開発	山口勇・栗原秀樹・山本克美・重松宏志・御代川喬志〔電気応用技術グループ〕

平成15年6月10日(火) 西が丘庁舎 第2教室
電気機器・装置開発

	題 目	発 表 者 (印は講演者、()は産業技術研究所の各技術グループ)
1	携帯用EMC検査装置の開発	寺井幸雄・天早隆志・清水弘康〔電子技術グループ〕・臼井万寿雄(都総務局)
2	鉄系焼結金属を鉄心に利用した直流モーターの開発	浅見淳一・森河和雄〔表面技術グループ〕、小坂修司(特殊電装株)
3	ガス分析用超小型赤外線ランプとその特性測定器の開発	中島敏晴・林国洋〔計測応用技術グループ〕、石田智・河合潤(浜井電球工業株)
4	粉じんの取扱が安全・容易な簡易型じんあい試験機の開発	栗原秀樹・御代川喬志〔電気応用技術グループ〕
5	制振性能測定のための非接触電磁加振器の特性	牧野晃浩(都城南地域中小企業振興センター)、長谷川徳慶・高田省一〔計測応用技術グループ〕
6	電気二重層コンデンサを用いた小電力供給回路の開発	三上和正(都城南地域中小企業振興センター)、小林丈士・平塚尚一〔電子技術グループ〕
7	半導体製造装置用液体供給装置の高速熱交換システムの開発	小林丈士・平塚尚一〔電子技術グループ〕、三上和正(都城南地域中小企業振興センター)、芦田春幸(有テクノメイト)

平成15年6月10日(火) 西が丘庁舎 第3教室
電気機器・装置開発

	題 目	発 表 者 (印は講演者、()は産業技術研究所の各技術グループ)
1	鉄族アモルファスメッキ膜の磁気特性	伊藤清〔電子技術グループ〕、王 峰・渡辺徹(東京都立大学)
2	低融点ガラスの無鉛化技術 ホウ珪酸塩基系ガラス	田中実・上部隆男〔材料技術グループ〕、大久保一宏(企画普及課)、山本克美・重松宏志〔電気応用技術グループ〕

3	絹タンパクとエマルジョン型イソシアネートを用いた木材の接着	瓦田研介・飯田孝彦・宮崎巖・茨田正孝〔資源環境技術グループ〕, 近江正陽〔東京農工大学農学部〕
4	プラスチック複合木材の開発	林正浩(千葉県産業支援技術研究所 企画調整室)
5	材料分析におけるラマン分光の優位性	篠田勉〔材料技術グループ〕, 吉川光英(都城東地域中小企業振興センター)
6	イオンビームを用いた水素原子分析法	中村優〔精密分析技術グループ〕
7	低エネルギー線を用いた厚さ計の開発	山田隆博・鈴木隆司〔放射線応用技術グループ〕
8	材料中のアルファ線放出核種定量測定システムの構築	櫻井昇・後藤亮〔放射線応用技術グループ〕, 宮崎則幸〔安全管理課〕, 白石文夫・橋本トモ子(立教大学原子力研究所)
9	銅液相中の微量元素量と鋼の表面赤熱脆性	上本道久〔材料技術グループ〕, 長崎千裕(東京大学大学院工学系研究所)
10	動的電子スペックル干渉法(DESPI)によるステンレス鋼(SUS304)の疲労過程観察	白石和久(埼玉県産業技術総合センター電子情報技術部)
11	有機物中のハロゲン及び硫黄の一括自動分析	山本真・上野博志〔材料技術グループ〕, 金子真理奈(都城南地域中小企業振興センター), 三森啓介(都水道局), 長嶋潜(㈱ナックテクノサービス)
12	簡易ガラスマイクロチップの作製と科学分析への応用	伊藤健(神奈川県産業技術総合研究所)

平成15年6月10日(火) 西が丘庁舎 第4教室
資源・リサイクル・環境分析

	題 目	発 表 者 (印は講演者, ()は産業技術研究所の各技術グループ)
1	草炭を利用した脱臭剤および土壌改良材の試作	山本真〔材料技術グループ〕, 小山秀美〔資源環境技術グループ〕, 三森啓介(都水道局), 深田浩巳・若月剛(ピース産業㈱), 坂本道子・白井正孝(㈱メルシャンクリンテック)
2	廃プラスチックの複合化による電気絶縁材への用途開発	山本克美・重松宏志・殿谷保雄〔電気応用技術グループ〕
3	再生紙を活用した低周波用吸音体の開発	神田浩一・平松麻子・長谷川徳慶・高田省一・加藤光吉〔計測応用技術グループ〕, 横田裕史〔情報システム技術グループ〕
4	放射線施設に設置された廃棄フィルタの再生処理システムの開発	宮崎則幸・関口正之・櫻井昇・増淵和成〔放射線応用技術グループ〕, 森一幸・佐伯英久(㈱イング)
5	クラフト古紙より調整した活性炭の細孔構造と吸着性能	島田勝廣〔製品科学技術グループ〕, 飯田孝彦・瓦田研介〔資源環境技術グループ〕, 鈴木宏昌・篠崎倫子・岡山隆之(東京農工大学)
6	ディーゼル排気粒子の個別分析システムの開発	伊藤洋昭〔製品科学技術グループ〕, 白子定春〔放射線応用技術グループ〕, 中村優・金城康人〔精密分析技術グループ〕, 伊藤寿(都多摩中小企業振興センター), 佐藤彰浩(㈱日製サイエンス)
7	紫外線照射 アミド硫酸添加法による排水中の窒素成分処理の制御法	小坂幸夫・永嶋茂・長谷川明良〔資源環境技術グループ〕
8	工業材料から発生するホルムアルデヒドの定量方法	野々村誠〔資源環境技術グループ〕, 後藤典子, 田辺寛子〔精密分析技術グループ〕
9	廃プラスチックの化学原料化	高橋亮(神奈川県産業技術総合研究所 資源・生活工学部)
10	バイオマスの有効利用に関する研究 もみ殻灰を利用した二元細孔シリカ多抗体の調整	小口正浩(埼玉県産業技術総合センター 材料技術部)

11	滅菌システムにおける分離膜再生方法の開発	栗原英紀(埼玉県産業技術総合センター 環境技術部)
12	高活性光触媒ナノ材料の作製とVOC除去への応用	上本好仁(神奈川県産業技術総合研究所 材料工学部)

平成15年6月11日(水) 西が丘庁舎 第2教室
マイクロ加工・ドライ加工

	題 目	発 表 者 (印は講演者,()は産業技術研究所の各技術グループ)
1	ドライ加工を目的としたDLC膜の密着性向上	玉置堅次・基昭夫・片岡征二〔精密加工技術グループ〕
2	PCD工具のマイクロ円筒研削加工	横沢毅〔精密加工技術グループ〕, 長谷川徳慶〔計測応用技術グループ〕
3	加工穴を利用したマイクロ放電加工法の開発	山崎実・鈴木岳美〔精密加工技術グループ〕, 森紀年(都城東地域中小企業振興センター), 國枝正典(東京農工大学)
4	高速加工機による脆性材料の延性モード切削技術の開発	森俊道・西岡孝夫〔精密加工技術グループ〕
5	三次元座標測定機の性能診断装置の開発	樋田靖広・佐藤公一・浜島義明・中条知和〔精密加工技術グループ〕, 澤近洋史〔企画普及課〕
6	軽合金ダイカストの薄肉化	佐藤健二・青沼昌幸〔表面技術グループ〕, 高田茂〔技術評価室〕
7	窒化チタン膜の摩擦特性に及ぼす塩素イオン注入濃度の影響	三尾淳・内田聡〔表面技術グループ〕, 相澤龍彦(東京大学先端研)
8	光通信用多心フェルールの作製	上野武司・加沢エリト〔電子技術グループ〕

平成15年6月11日(水) 西が丘庁舎 第3教室
福祉・生活

	題 目	発 表 者 (印は講演者,()は産業技術研究所の各技術グループ)
1	操作用スイッチボタンの触覚識別性	三好泉〔製品科学技術グループ〕, 河村洋(電気応用技術グループ)
2	高齢者施設や病院で有効な自動収尿装置の開発	岡野宏・河村洋〔電気応用技術グループ〕, 小野雅司(株介護機器開発), 新関満・角田秋夫・鈴木康之(芝田科学株)
3	赤外線リモコン付きデジタルカメラの重度障害者向け改造	河野洋, 岡野宏〔電気応用技術グループ〕
4	東京都の海域における深層水の水質特性	後藤典子・齋藤正明・田辺寛子〔精密分析技術グループ〕, 小坂幸夫〔資源環境技術グループ〕, 米沢純爾・加藤憲司・橋本宏(都水産試験場)
5	屋上緑化花壇による建物内温度への効果	尾出順・水野裕正〔技術評価室〕, 鈴木蕃・大久保一宏〔企画普及課〕, 内藤博之・仁田隆(火山灰利用研究会)
6	新しい植毛技術を応用した帯電防止マットの開発	殿谷保雄・山本克美・重松宏志〔電気応用技術グループ〕
7	プリズム式昼光利用窓装置の試作およびその効果の実証実験	岩永敏秀・山本哲雄・實川徹則〔計測応用技術グループ〕

平成15年6月11日(水) 西が丘庁舎 第4教室

IT

	題 目	発 表 者 (印は講演者,()は産業技術研究所の各技術グループ)
1	講演「IT関連機器の最新動向」	中村英夫(日本大学教授 理工学部 電子情報工学科)
2	無線データ通信組み込み応用装置の開発	佐藤正利・森久直・高野哲史・坂巻佳壽美・宮田勝雄〔情報システム技術グループ〕, 青木孝一郎(日本大学大学院)
3	Bluetooth(無線通信)による電力量計測システムの開発	重松宏志・山本克美・金岡威〔電気応用技術グループ〕, 佐藤正利〔情報システム技術グループ〕
4	Javaアプレットを用いたDXF表示インターフェースの開発	高野哲寿・坂巻佳壽美〔情報システム技術グループ〕, 青木孝一郎(日本大学大学院)
5	中小企業インターネット技術支援システムの開発	土屋敏夫・高野哲寿・北原枢・大畑敏美・宮田勝雄〔情報システム技術グループ〕, 能條自大〔企画普及係〕
6	口腔内検査用カメラの開発	大畑敏美・北原枢・土屋敏夫〔情報システム技術グループ〕, 戸田知男・上野章・糸永正俊(藤田ジャパン株)
7	中小企業の情報化に伴うセキュリティに関する問題の現状	山崎佳壽美・北原枢〔情報システム技術グループ〕, 御代川喬志〔電気応用技術グループ〕, 小林丈士〔電子技術グループ〕

平成15年6月19日(木) 墨田庁舎

繊維技術

	題 目	発 表 者 (印は講演者,()は産業技術研究所の各技術グループ)
1	三次元から展開するテキスタイルデザインとその製品化技術の開発	小林 洋子〔八王子分室〕
2	熱分析による染色ムラの解析	添田 心〔ニット技術グループ〕
3	アルミ蒸着シートの被服材料としての保温性評価	田中みどり〔八王子分室〕
4	繊維製品の非破壊によるクレーム解析試験の体系化	長野 龍洋〔八王子分室〕
5	バナナの廃材を利用した紡績糸及び織物	樋口 明久〔テキスタイル技術グループ〕
6	帯電防止糸を用いたアパレル製品開発	黒田 良彦〔アパレル技術グループ〕
7	アパレル製品企画に適したテキスタイルパターン集(CD-ROM)の製作	大橋 健一〔アパレル技術グループ〕
8	ソックスの締め付け感とずり落ちの関係	近藤 幹也〔情報システム技術グループ〕
9	複合素材のプリント技術の開発	藤代 敏〔ニット技術グループ〕
10	酵素によるセルロース系繊維製品の特殊加工	池田 善光〔テキスタイル技術グループ〕

8.3 施設公開

当所の主要施設、設備を中小企業及び一般都民に公開し、各種事業の理解を得るとともに、産業技術の普及を図った。

施設公開のキャッチフレーズを次のとおり設定し、施設公開の普及に努めた。

「みてふれて 体験しよう 科学の不思議」

入場者数は全庁舎合計3,782名（西が丘庁舎1,781名、駒沢庁舎575名、墨田庁舎444名、八王子庁舎982名）であった。

1 公開日

西が丘庁舎	平成15年10月6日(月)、7日(火)
駒沢庁舎	平成15年10月3日(金)、4日(土)
墨田庁舎	平成15年4月23日(水)、24日(木)
八王子庁舎	平成15年10月8日(水)、9日(木)

2 公開内容

1) 西が丘庁舎

からくり人形と指南車の展示と実演：協力(株)大野精密（本館2階講堂控室）
産業技術研究所の成果事例の紹介（本館4F第四会議室）
共同開発研究の紹介、駒沢・墨田・八王子の当所各庁舎の紹介
バーチャル公設試の紹介～他県の公設試験研究機関の紹介～（本館4階第4会議室）
茨城県工業技術センター 神奈川県産業技術総合研究所
群馬県工業試験場 埼玉県工業技術センター
静岡県静岡工業技術センター 千葉県機械金属試験場
千葉県工業試験場 栃木県工業技術センター
長野県精密工業試験場 新潟県工業技術総合研究所
産業労働行政・技術専門校コーナー（本館1階ものづくりネットワーク促進室）
産業労働局の労働行政や技術専門校の案内
(財)東京都中小企業振興公社（本館4F第四会議室）
城東・城南・多摩地域中小企業振興センターの紹介
小学校団体見学への事業説明（本館2F講堂）
苗木の配布（本館1階玄関前）
さつき、つつじ、ブルーベリー等の配布（先着順各日175本）
体験教室
パソコン教室（メカの制御）、IC工作教室（電子オルゴールの製作）、初めての精密測定入門、無線LANを使用したユビキタス体験 他

2) 駒沢庁舎

記念講演（講堂）
10月4日(土)
独立行政法人 放射線医学総合研究所 重粒子医科学センター 古澤佳也氏
「放射線によるがんの診断・治療の最前線」
所内一般公開

1号館 特設コーナー（2Fロビー）
非破壊検査、オートラジオグラフィ
2号館 蛍光X線分析、電子顕微鏡・放射線防護、放射線計測
3号館 コバルト照射室、電子線照射室、イオン加速器室
4号館 環境放射能測定室、相談室
体験・実演
UVアート
他庁舎紹介展示
西が丘庁舎、墨田・八王子庁舎紹介

3) 墨田庁舎

平成15年4月23日（水）・24日（木）

ポスターセッション・製品展示等（実習室）

研究成果紹介パネルの掲示説明

ユニバーサル製品の展示説明

体験コーナー（実習室）：ステンシルプリント

VTR放映：繊維の基礎知識

所内一般公開

- ・墨田分室：引張強さ試験・摩耗試験機の実演、繊維製品クレーム品展示説明、染色堅ろう度・耐光試験説明
- ・アパレル技術グループ：デザイン作成システム・インクジェット捺染システム・型紙作成システム・スポンジング機等の実演・素材データベース・流行情報等の展示
- ・ニット技術グループ：非接触三次元計測装置・走査型電子顕微鏡・光学顕微鏡の説明、丸編機・横編機の実演、浸染・プリントの説明

印刷物の配布：ADI、テクノ東京21、研究結果説明パンフ

4) 八王子庁舎

平成15年10月8日（水）・9日（木）

ポスターセッション・製品展示等（庁舎内）研究成果紹介パネルの掲示説明

多摩中小企業振興の紹介

三宅島関連コーナー：三宅島プリント体験・三宅島げんき農場展示と収穫物配布

VTR放映：東京の伝統産業

所内一般公開

- ・八王子分室：引張強さ試験・摩耗試験機の実演、繊維製品クレーム品展示説明、染色堅ろう度・耐光試験説明・光学顕微鏡の説明
- ・テキスタイル技術グループ：各種織機の実演・展示、各種撚糸機の実演・展示、組み紐配デザイン作成システム実演、インクジェット捺染システム実演、各種浸染機器の実演、展示、各種編機の実演・展示

印刷物の配布：ADI、テクノ東京21、和、研究結果説明パンフレット

8.4 施設見学

企業・業界団体、都・区の関係部署及び一般都民等からの要望に応じて、団体見学を随時実施し、当所のPRを積極的に行った。

平成15年度の実績は次のとおりであった。（施設公開を除く）

	西が丘庁舎	駒沢庁舎	墨田庁舎	八王子庁舎	合 計
件 数(件)	491	165	74	55	785
見学者数(名)	1,372	715	693	886	3,666

主な見学者

西が丘庁舎

- 日立技術士会（80名）
- 湘央生命科学技術学校（48名）
- 日の出町商工会工業部会(20名)
- マテリアルライフ学会（20名）
- プラズマ熱処理・表面技術研究部会（17名）
- 産学公技術交流会実行委員会（15名）

駒沢庁舎

- 帝京大学附属放射線学校(118名)
- 都立大学附属高校(68名)

墨田庁舎

- 墨田区役所新入職員研修（22名）
- 墨田区産業の町ネットワーク加盟都市視察（3名）
- 墨田区民施設めぐり（22名）
- 織物卸商業組合（35名）
- 繊維製品消費科学会（16名）
- 繊維関連企業新人研修（47名）
- 専門学校・大学・高校（56名）
- (財)ファッション産業人材育成機構（79名）

八王子庁舎

- 黄八丈織物組合（27名）
- 東京ニット卸協同組合（43名）
- 多摩シルクライフ21（54名）
- 東京農工大学工学部付属織物研究会（22名）
- 文化女子大学服装学部（93名）
- 都立八王子工業高校（35名）
- 八王子市立小中学校総合学習（161名）
- 備中繊維技術研究会（6名）

8.5 展示会への出展

都内中小企業や都民に当研究所の成果をパネルやサンプル、デモ実験、模型の展示などを用いて、紹介・普及した。また、都内産業及び都民生活と研究所の業務がどのように関連しているかをわかりやすく説明し、啓蒙・周知に努めた。

No	展示会名	主催	開催日	場所
1	第5回三宅島島民ふれあい集会～考えよう！三宅島の今とこれから～	第5回三宅島島民ふれあい集会実行委員会	平成15年 5月18日(日)	港区芝浦小学校
2	青少年のための科学の祭典2003	(財)日本科学技術振興財団	平成15年 7月27日(日) ～28日(月)	科学技術館
3	テクノTOKYOフェア2003 in Shinjuku ～アイデアを形にする産業技術研究所～	東京都立産業技術研究所	平成15年 10月28日(火) ～30日(木)	都政ギャラリー
4	2002中小企業ビジネスフェア in TOKYO	経済産業省、 関東経済産業局	平成15年 10月29日(水) ～30日(金)	東京ビッグサイト
5	赤羽技術専門学校技能祭	東京都立赤羽技術専門学校	平成15年 11月1日(土)	赤羽技術専門学校
6	八王子技術専門学校技能祭	東京都立八王子技術専門学校	平成15年 11月1日(土)	八王子技術専門学校
7	板橋技術専門学校技能祭	東京都立板橋技術専門学校	平成15年 11月3日(月)	板橋技術専門学校
8	文化学園文化祭 「MUGEN」	学校法人 文化学園 文化学院	平成15年 11月2日(日) ～4日(火)	文化学院
9	Embedded Technology2003組込み総合技術展	(社)日本システムハウス協会	平成15年 11月12日(水) ～14日(金)	パシフィコ横浜
10	産業交流展2003	産業交流展2003実行委員会	平成15年 12月16日(火) ～17日(水)	東京ビッグサイト
11	江戸べっこう展	全国伝統的工芸品センター	平成16年 1月22日(木) ～27日(火)	全国伝統的工芸品センター
12	第8回大田工業フェア	大田区、(財)大田区産業振興協会、(社)大田区工業連合会	平成16年 2月12日(木) ～14日(土)	大田区産業プラザ Pio
13	第3回たま工業交流展	たま工業交流展実行委員会	平成16年 2月13日(金) ～14日(土)	昭和の森・メッセ昭島
14	あだち異業種フォーラム2004	あだち異業種連絡協議会	平成16年 2月19日(日)	足立区役所
15	町田市テクノフェア2004	町田市テクノフェア実行委員会	平成16年 2月20日(金) ～21日(土)	ホテルザ・エルシイ町田

16	全国繊維工業技術協会	第41回全国繊維技術交流プラザ	平成15年 10月4日(土) ～10月5日(日)	今治地域産業振興 センター(愛媛県)
17	文化女子大学	文化女子大学文化祭	平成15年 11月2日(日) ～11月4日(火)	文化学園アパレル 品質管理教室
18	たま工業展実行委員会	第3回たま工業交流展	平成16年 2月13日(金) ～2月14日(土)	メッセ昭島

8.6 刊行物

所の前年度の事業をまとめた「年報」、「事業概要」、研究課題ごとにその全体像を紹介した「研究報告」、研究発表会の内容をまとめた「研究発表会要旨集」、特定の技術について解説した「技術ガイド」のほか、多種の刊行物を発行して事業の普及に努めた。

刊行物	登録年月	部数
東京都立産業技術研究所 事業案内（8頁版）	16年3月	18,000
東京都立産業技術研究所 事業案内（8頁・英語版）	16年3月	500
平成15年度 事業概要	15年4月	650
東京都立産業技術研究所 年報（平成14年度）	15年4月	800
第4回都立産業技術研究所「技術セミナー」要旨集	15年9月	400
第4回都立産業技術研究所「技術セミナー」及び展示会案内はがき	15年9月	3000
第4回都立産業技術研究所「技術セミナー」及び展示会ポスター	15年9月	300
東京都立産業技術研究所 研究発表会プログラム	15年4月	1,200
東京都立産業技術研究所 研究発表会ポスター	15年4月	300
東京都立産業技術研究所 研究発表会要旨集（平成15年度）	15年4月	600
東京都立産業技術研究所 研究報告 第6号	15年9月	1,100
第18回 東京都異業種交流プラザ 合同交流会	16年1月	320
技術ガイド「測定の基礎と測定機器の精度管理」	15年8月	200
繊維技術ハンドブック「衣服の快適性試験」	16年1月	2,000
アパレルデザインインフォメーション（ADI） 58	15年9月	2,000
アパレルデザインインフォメーション（ADI） 59	16年1月	2,000
和装インフォメーション情報誌「和」 10	15年10月	1,000
繊維パンフレット「繊維試験法のいろいろ」	16年3月	3,000

8.7 テクノ東京21

産業労働局商工関係6試験研究機関では、技術情報誌「テクノ東京21」を毎月1回発行しており、当所は原稿執筆及び編集企画で協力している。

平成15年度における当所の執筆は、次のとおりである。

発行年月	内 容		所 属	執筆者名
平成15年 4月	研究紹介	原子の世界のピリヤード イオンビームによる水素の分析	精密分析技術グループ	中村 優
	設備紹介	放射能がわかる!! ゲルマニウム半導体検出器	放射線応用技術グループ	鈴木 隆司
	技術アドバイザー制度	お役に立ちます! 技術アドバイザー制度	企画普及課相談指導係	安藤 敦子
	研究会参加	研究会への参加を	精密分析技術グループ	中村 優
	研修・講習会	産業技術研究所 研修・講習会へのご案内	企画普及課普及係	須田 廣勝
	所長挨拶	産技研をご活用ください	所長	井上 滉
平成15年 5月	事業紹介	経営ビジョン・主な事業		
	研修・講習会紹介	商工関係6試験研究機関での各種研修・講習会の開催		
	研究テーマ紹介	主な研究テーマ		
	研究紹介	焼結機械部品の複数形状化 鉄圧粉体の切削加工	表面技術グループ	浅見 淳一
	技術解説	ガラス製品の破損解析	材料技術グループ	上部 隆男
	技術解説	燃料油の混合・混入と蒸留試験	資源環境技術グループ	小山 秀美
平成15年 6月	研究紹介	加工現場から潤滑油が消えるかも ドライ加工を目的としたDLC膜の密着性向上	精密加工技術グループ	玉置 賢次
	技術解説	環境にやさしい『電気二重層コンデンサ』	電子技術グループ	小林 丈士
	技術解説	日常生活に利用されている制御技術	製品科学技術グループ	園田 卓
	技術解説	業務効率化のためのエクセル活用法	企画普及課	能條 自大
	がんばってる 中小企業	精密機器を支える熟練の電球づくり	計測応用技術グループ	岩永 敏秀
	研究会参加	研究会への参加を	放射線応用技術グループ	関口 正之
	研究会活動	人に優しい技術を見つめるネットワーク	電気応用技術グループ	岡野 宏
平成15年 7月	特集号	産業技術研究所における産学公連携事業	企画普及課	碓井 正雄
	特集号	ダイヤモンドコーテッド工具による無潤滑塑性加工技術の開発	精密加工技術グループ	片岡 征二
	特集号	イオンプレーティング膜へのイオン注入複合処理によるドライ切削工具の開発	表面技術グループ	三尾 淳
	ファッションアイ	和み感覚の服	アパレル技術グループ	小高久丹子

発行年月	内 容		所 属	執筆者名
平成15年 8月	研 究 紹 介	使用に耐える練込繊維をつくる	テキスタイル技術グループ	山本 清志
	研 究 紹 介	インテリア用繊維製品の防かび加工と性能評価	ニット技術グループ	小柴多佳子
	研 究 紹 介	衣類のトラブル・まずホームページで見よう	八王子分室	長野 龍洋
	研 究 紹 介	自然界に存在する放射性物質の分布を目でみる	精密分析技術グループ	小山 元子
	技 術 解 説	放射線を利用した身近な商品(コンシューマプロダクト)	安全管理課	武藤 利雄
	技 術 解 説	放射線を利用した厚さ計	放射線応用技術グループ	鈴木 隆司
		カレイドスコープ(万華鏡)の模様がネクタイに	アパレル技術グループ	北原 浩
平成15年 9月	技 術 解 説	重金属汚染土壌の基準と分析方法	資源環境技術グループ	大塚 健治
	技 術 解 説	燃料電池と水素エネルギー	表面技術グループ	内田 聡
	設 備 紹 介	射出成形シミュレーションシステム	材料技術グループ	阿部 聡
	施 設 公 開	産業技術研究所の3庁舎(西が丘、駒沢、八王子庁舎)を10月に公開します		
	技 術 支 援	技術支援事業のご利用を!		
平成15年 10月	研 究 紹 介	アプリケーションベースの組み込み制御	情報システム技術グループ	武田 有志
	研 究 紹 介	Bluetoothによる電力量計測システムの開発	電気応用技術グループ	重松 宏志
	実 証 実 験	屋上緑化花壇とその温度計測	技術評価室	尾出 順
	技 術 解 説	昔のあかり・新しいあかり	計測応用技術グループ	山本 哲雄
	設 備 紹 介	発電機・電動機のトルク測定装置	電気応用技術グループ	山本 克美
	が ん ば っ て る 中 小 企 業	農産物廃棄物の新たな再利用方法の開拓	製品科学技術グループ	松田 哲
平成15年 11月	特 集 号	産業技術研究所の特許と実用化事例	企画普及課	遠藤 洋平
		放射能をめぐるしに追跡する	精密分析技術グループ	小山 元子
平成15年 12月	技 術 解 説	繊維の熱分析	墨田分室	関口 敏昭
	技 術 解 説	プラズマ処理による表面改質	テキスタイル技術グループ	檀本 一郎
	研 究 紹 介	ずり落ちにくく締め付けすぎないソックスをつくるために	情報システム技術グループ	近藤 幹也
	技 術 解 説	建材が放散する室内空気汚染物質とその測定法	資源環境技術グループ	瓦田 研介
	研 究 会 参 加	研究会への参加を	システム技術グループ	森 久直
		アパレル製品企画のためのデータ集開発	アパレル技術グループ	大橋 健一

発行年月	内 容		所 属	執筆者名
平成16年 1月	技 術 解 説	放射線を安全に利用するためのルール	安全管理課	武藤 利雄
	技 術 解 説	放射線滅菌と国際規格の現状	放射線応用技術グループ	関口 正之
	技 術 解 説	「なぜ今マグネシウム合金なのか？」	材料技術グループ	石田 直洋
	研 究 紹 介	チタンと異種金属材料との複合化 接合による複合化	表面技術グループ	青沼 昌幸
	研 究 紹 介	収拾型プラスチックシンチレータ方式のラドン 連続測定装置	精密分析グループ	斉藤 正明
		ジャバクオリティ再発見	テキスタイル技術グループ	藤田 茂
平成16年 2月	研 究 紹 介	静電植毛技術を活用した帯電防止マット	電気応用技術グループ	殿谷 保雄
	研 究 紹 介	小ねじ部品用締付け試験機の開発	技術評価室	舟山 義弘
	技 術 解 説	期待される次世代の照明用光源 LED	計測応用技術グループ	岩永 敏秀
	技 術 解 説	油圧機器の陰の仕事人バランスピストン	製品科学技術グループ	並木 喜正
	技 術 解 説	ブロックゲージを用いた測定器の自主管理	精密加工技術グループ	浜島 義明
	技 術 解 説	Lab On a chip 手のひらにある生化学分析チップ	電子技術グループ	加沢エリト
		2004年秋冬テキスタイル傾向	テキスタイル技術グループ	藤田 茂
平成16年 3月	研 究 紹 介	静電気発生が少ないニット製品開発	アパレル技術グループ	黒田 良彦
	研 究 紹 介	複合素材のプリント技術	ニット技術グループ	藤代 敏
	研 究 紹 介	天然成分による綿の防かび加工	ニット技術グループ	中村 宏
	技 術 解 説	織物の産業用資材への用途展開	テキスタイル技術グループ	飯田 健一
		東京異業種交流会グループの製品化事例		
		中小企業ニューマーケット開拓支援事業		
		セーターに多い毛玉の正体と評価方法		

8.8 資料収集

試験、研究、指導事業の実施において技術資料の収集・活用は欠くことができないものである。このため、国内外の専門誌・図書・技術文献等を購入すると共に、国、地方自治体、業界団体、大学、企業ならびに東京都の主に研究機関を含む関係機関から寄贈を受けたものを所内各部門の利用に供している。

平成16年3月現在の蔵書数・学術雑誌等は次のとおりである。

	西が丘庁舎	駒沢庁舎	墨田庁舎	八王子庁舎
蔵書数（冊）	49,496	14,584	3,164	3,194
内訳				
和書（冊）	33,262	5,914	3,038	2,991
洋書（冊）	16,234	8,670	126	203
受け入れ雑誌	880	174	137	138
内訳				
購入和雑誌（種）	73	2	30	23
寄贈和雑誌（種）	774	167	96	108
購入洋雑誌（種）	33	5	11	7
欧文雑誌（種）	33	17	11	7
和文雑誌（種）	847	126	126	131

8.9 図書管理

収集した資料は分類、整理、製本、登録等の後、配架して利用に供している。

平成15年度に入庫処理した冊数は下記のとおりである。

区分	内外	西が丘庁舎 冊数（冊）			駒沢庁舎 冊数（冊）		
		購入	寄贈	計	購入	寄贈	計
図書	国内	345	7	352	24	4	28
	外国	73	0	73	5	0	5
雑誌	国内	1,041	1,669	2,710	23	415	438
	外国	367	0	367	127	1	128
合計		1,826	1,676	3,502	179	420	599

区分	内外	墨田庁舎 冊数（冊）			八王子庁舎 冊数（冊）		
		購入	寄贈	計	購入	寄贈	計
図書	国内	90	14	104	31	1	32
	外国	3	0	3	0	0	0
雑誌	国内	298	294	592	266	217	483
	外国	148	0	148	35	0	0
合計		539	308	847	322	218	515

8.10 インタ - ネット・ホ - ムペ - ジ

所の事業・成果を広く普及するために、平成9年度からホ - ムペ - ジを開設している。随時、内容を充実し、効果的な広報と使い易さの向上などに努めている。

今年度は5月より構成を大きく変更し、各ページから大きな項目へ直接移動できるメニューを各ページの上部に追加するとともにサイト内検索を可能とし利便性の向上を図った。

アクセス件数は、開設当初は年間で5千件未満だったが、15年度末の累積では28万件を超え、年間アクセス件数は約10万2千件（前年比119%）となっている。

公開している内容は下記のとおりである。

最新情報・催事情報	設備一覧
ご相談・支援	産学公連携
ご利用方法	交流事業紹介
研修講習会・行事	刊行物
当所の公開特許	リンク集
研究紹介	アクセス
組織紹介	事業紹介
相談コーナー	ご意見ご要望

英文のホ - ムペ - ジには、以下の内容を掲載している。

研究所の概要 各庁舎の概要

産業技術研究所のホ - ムペ - ジアドレス（URL）は以下のとおり。

URL <http://www.iri.metro.tokyo.jp/>

8.11 マスコミ報道

1) テレビ報道・ラジオ報道

放映日時	テレビ・ラジオ局・番組名	内 容
H15. 5.21	テレビ朝日「スーパーJチャンネル」	身近に潜む危険「焼き破り」
6.25	NHK「教育テレビ」	～小学校6年理科～どこで作られる？でんぶん
7.1	東京MXテレビ「ニュース」	導電性繊維を編み込んだベストの避雷効果
7.2	NHK「教育テレビ」	～小学校6年理科～どこで作られる？でんぶん
8.29	北9チャンネル「なるほどインターネット」	研究所の事業内容、及びホームページ
8.31	青森放送「エネルギーサロン」	科学技術がバナナから繊維を作る
9.5	FM青森「エネルギーサロン」	科学技術がバナナから繊維を作る
9.22	テレビ朝日「スーパーJチャンネル」	ガラス灰皿の爆発事故による火災
10.28	テレビ朝日「気になる」	ガラス灰皿の爆発事故による火災
10.28	NHKBS1「BS23経済最前線」	デンエンチョウフロマンの着色法
H16. 1.21	テレビ東京「東京色」	三宅ガラスジュエリー
1.28	テレビ東京「東京色」	三宅ガラスジュエリー

2) 新聞・雑誌報道

掲載日	新聞・雑誌名	内 容
H15. 4.22	都 政 新 報	知的財産総合センターがオープン 中小企業の創造・保護・活用支援
4.22	日刊工業新聞	今年度は50件実施 中小向け研修など概要 都立産技研
5.19	日本工業新聞	技術の“種”公募 大学、高専など対象 連帯企業を助成支援
5.19	日刊工業新聞	製品化まで総合支援 東京都産学公の連携推進 共同研究開発
5.20	北 区 ニ ュ ー ス	都立産業技術研究所「研究発表会」 最新の研究成果や技術支援について
5.20	都 政 新 報	産学公連携 都が直接支援 マッチング・助成を一体化に実施
5.23	日本経済新聞	都が産学連携に補助金 最高1,500万円 中小の開発を支援
5.30	都 政 新 報	東京都立産業技術研究所「研究発表会」環境・IT・福祉や、アパレル
6.2	東 京 新 聞	「産学公」連携で都 商品開発のテーマ募集
6.5	日刊工業新聞	10、11の両日都内2会場で研究発表会 都立産技研
6.6	日本工業新聞	周辺3県が初参加 10、11日に北区西が丘都産技研が研究発表会
6.23	日刊工業新聞	被介護人を快適に「起こす」手助け 健康福祉研究会が製品化
7.1	日本工業新聞	PETのリサイクル性向上 東工大・都立産技研が新技術開発
7.4	織 研 新 聞	三次元から展開するテキスタイルデザインとその製品化技術の開発
7.4	織 研 新 聞	アルミ蒸着シートの被服材料としての保湿性評価
7.4	織 研 新 聞	繊維製品の非破壊によるクレーム 解析試験の体系化
7.4	織 研 新 聞	バナナの廃材を利用した紡績糸及び織物
6.25	塗 料 報 知	環境関連やナノテク等 都内2ヶ所で研究発表会 都立産技研
7.8	織 研 新 聞	アパレル製品企画に適したテキスタイルパターン集の制作
7.8	織 研 新 聞	ソックスの締め付け感とずり落ちの関係

掲載日	新聞・雑誌名	内 容
H15.7.8	織 研 新 聞	複合素材のプリント技術の開発
7.8	織 研 新 聞	酵素によるセルロース系繊維製品の特殊加工
7.11	日 本 工 業 新 聞	潤滑油使わずプレス加工 金型に炭素系薄膜塗布
7.15	都 政 新 報	任期付き若手研究員を採用 産業技術研究所 3年で「成果」に自信
7.15	日 本 工 業 新 聞	東京都立産業技術研究所が環境セミナー 「クリーン環境技術」
7.17	日 本 工 業 新 聞	ビート原料に炭素系素材 都立産技研が開発 高機能で低コスト
7.18	日 刊 工 業 新 聞	燃料電池セル薄膜形成 手動式塗布装置を開発 蒲田製作所
7.29	日 経 産 業 新 聞	繊維の街の集積いかす 列島に行く・東京都墨田区
7.31	日 本 工 業 新 聞	民間常駐の共同研究室 都産技研、オープンラボ開設
8.7	日 本 工 業 新 聞	環境汚染物質を一括分析 都立産技研、ナックテクノ
8.14	日 本 経 済 新 聞	中小向けに研究拠点 賃貸しや無料開放相次ぐ 首都圏自治体
6.5	近 代 縫 製 新 聞	味付けのヒント～品質を高める「技術」 ～襟、肩～
7.5	近 代 縫 製 新 聞	味付けのヒント～品質を高める「技術」 ～肩～
8.5	近 代 縫 製 新 聞	味付けのヒント～品質を高める「技術」 ～裏地・最終回～
8.22	日 刊 工 業 新 聞	鉛フリー塗装技術05年めど確立へ 鋼材の防錆用下塗り
8.26	日 本 工 業 新 聞	産業技術研究所が光関連の研修会開催
8.29	日 本 工 業 新 聞	潤滑油不要の切削“刃” 都立産技研などが開発 塩素イオンで薄膜表面改質
9.4	日 刊 工 業 新 聞	北区と板橋区の地域資源活用 健康・医療・福祉産業を活性化
9.5	東 商 新 聞	新しい可能性ある分野へ導くことが役目 都産技研 所長井上滉さん
9.5	都 政 新 報	“経営意識”身につける 産労局で研修 技術系管理職にゲキ
9.20	北 区 ニ ュ ー ス	都立産業研究所施設公開「来て見て触れて、不思議な科学」
9.22	日 本 工 業 新 聞	ほうけい酸塩でガラス 低融点無鉛化製法を開発 都産技研
10.1	広 報 東 京	環境技術セミナー・テクノTOKYOフェア2003
9.30	日 本 工 業 新 聞	東京都立産業技術研究所が分野別専門研修会
10.2	読 売 新 聞	八王子庁舎を8-9日に公開 都立産業技術研究所
10.3	日 刊 工 業 新 聞	8、9日、施設公開都立産業技術研究所八王子庁舎
10.3	日 本 工 業 新 聞	放電加工用電極 効率的に微細化 最小直径4マイクロメートルに
10.12	毎 日 新 聞	科学の世界を体験 都立産業技術研究所西が丘庁舎
10.7	読 売 新 聞	都立産業技術研を小学生160人が見学 電子オルゴール作りも挑戦
10.21	日 本 工 業 新 聞	東京都立産業技術研究所が「テクノTOKYOフェア2003」
10.22	日 本 工 業 新 聞	都産技研が資源・リサイクルなどの研究発表会「環境技術セミナー」
10.20	問 屋 連 盟 通 信	トレンド情報 春夏色彩傾向 東京都立産業技術研究所
10.20	センイ・ジャナル	04年春夏ディレクション 都産技研 対照的な感覚の素材合わせ
10.22	センイ・ジャナル	04年春夏ディレクション 都産技研 綿用いシンプルに効果発揮
10.28	日 本 工 業 新 聞	厚さ0.1ミリのアルミ材接合 開放環境で可能
11.4	日 本 工 業 新 聞	円筒型を直径2マイクロに 微細工具製造法放電加工技術使う
11.4	日 本 工 業 新 聞	バナナの茎を繊維素材にリサイクル 小型装置も開発にメド
9.8	読 売 新 聞	トウモロコシから肌着 ココナツのカーペット、竹のTシャツも
10.24	センイ・ジャナル	04年春夏ディレクション フレッシュ感のある色彩で

掲載日	新聞・雑誌名	内 容
H15.10.30	センイ・ジャナル	04年春夏ディレクション ソフトでコンパクトな素材
10.29	センイ・ジャナル	04年春夏ディレクション 広域なアジア感覚を題材に
10.30	化学工業日報	ホウ素除去システム確立 水質汚濁防止法 新基準をクリア
11.1	日本工業新聞	東京都立産業研究所 池上機械 パナナの茎再資源化技術
11.11	都政新報	声かけられ表彰者も驚く
11.9	日本経済新聞	食の安全 監視が追いつかず 市場を監視する自治体も手薄
11.21	東京新聞	「三宅ガラスジュエリー」
11.26	日本工業新聞	アーク溶接毎分30メートル 磁気力生かし10倍高速
11.22	毎日新聞	火山灰が原料「三宅ガラス」加工宝飾品を展示販売
12.5	都政新報	都立産業技術研究所 美化運動でホテル並みを
12.5	都政新報	お金なく知恵と行動力で“あったらいいな”を実現したい
12.5	近代縫製新聞	国内外の生産現状 都産技研セミナー ミシン針と縫の関係
12.11	日本工業新聞	ホルムアルデヒド 酸化して高精度検出 都産技研が新手法
12.12	日本工業新聞	ビートで屋上緑化 年度内にシート製品化
1.1	広報 東京	マリンプルーに輝く三宅ガラスジュエリー
12.29	東京新聞	都がナノテクセンター 中小企業を支援へ 05年開設
1.13	都政新報	オーム技術賞を受賞した
1.14	日本経済新聞	三宅島火山灰で青いガラス置物 白眉宝飾工芸が東京みやげ
1.15	日本工業新聞	バナナ再資源化技術 茎でつくった衣料も登場
1.16	日本工業新聞	バナナ再資源化技術 茎の多量な廃棄に着目
1.20	日本工業新聞	イオンクロマトを利用 一般的な研究設備装置で可能
1.15	日経産業新聞	デザインワーク用織物パターン集
1.27	朝日新聞	IT専門研究員2人の公募開始 都立産技研、任期3年
1.28	日本工業新聞	紫外線照射で窒素除去 連続式の排水処理システム
2.3	都政新報	任期付研究員を2分野で募集 無線LAN、ユビキタスなどの技術分野
2.3	日本工業新聞	東京都立産業技術研究所が新技術セミナー
2.4	日本経済新聞	任期付研究員の募集
2.21	日本経済新聞	『待ち』から『攻め』へ地元と連携 企業向けに常駐の場
2.	Bulletein ASA	積極的な事業活動アピールでより多くの中小企業の技術支援を目指す
2.26	日本工業新聞	技術開発で産業活性化 大学と連携、支援拠点設置
2.25	日本経済新聞	第19回東京都異業種交流グループ合同交流会
2.26	日刊工業新聞	中小の技術支援強化 東京都産技研 産学公連携室を新設
3.3	日本経済新聞	水素貯蔵の合金量産技術
3.7	ファスニングジャーナル	ねじ部品用締付け試験機の開発 都立産技研の研究紹介
3.5	読売新聞	透かして見れば三宅の海
3.10	日理機工 NEWS	岡野宏氏オーム技術賞を受賞/長年の地道な活動と成果が評価される
3.11	日経新聞	ダンボール構造多層織物で厚み
3.25	毎日新聞	静電気、羊毛の半分に抑制 ニット開発に成功、製品化へ